

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他のサービス[レンタカー]（営業担当）	・今後2、3か月先も急激に観光客数が減る要素はなく、順調に伸びるのでレンタカーの需要も増える。
	やや良くなる	一般小売店[鞆・袋物]（経営者）	・引き続き、旅行鞆やポストンバッグ等の旅行関連商品が動く。
		衣料品専門店（経営者） 家電量販店（従業員）	・秋物の季節に入ると、単価等が徐々に上がってくる。これ以降は良い店と悪い店がだんだんはっきりしてくる。 ・少雨傾向にあり、水不足も懸念されているため、食器洗い乾燥機等の売行きが期待できる。このまま暑ければ、エアコン、冷蔵庫も順調に売上を伸ばす。また旧盆需要もあり、地上デジタル放送の認知度も上がれば、AV家電、薄型テレビの売上増も期待でき、そのまま年末商戦へなだれ込みそうな勢いが見受けられる。
変わらない	一般小売店[衣料品・雑貨]（経営者）	百貨店（担当者）	・例年なら「やや悪くなる」だが、今年度は秋・冬向けの商品開発を例年より早めに進めているため、新商品発売で例年よりは売上アップが見込める。
		スーパー（経営者）	・衣料品を中心に初秋商品の上がり状況が芳しくないとの情報があり、8月以降の商品入荷状況により影響が左右される。
	コンビニ（エリア担当）	・客数は伸びているが客単価が厳しい状況にあり、依然として消費者の特売商品の買い回り傾向が続く。今後は、台風等の天候や競合店の動向にもよるが、変わらず厳しい状況が続く。	
	その他飲食[居酒屋]（経営者）	・既存店はずっと前年比をクリアしているが、伸び率は、やや勢いが無くなってきている。	
	観光型ホテル（商品企画担当）	・観光客の入客は順調に増えるが、8月は旧盆があり、地元客はエイサーの練習や仏壇のある親戚周りで忙しく、飲食店への来店は落ちる。おしなべて例年並みである。	
	観光名所（職員）	・トップシーズンにおいては、例年90%を超える稼働となるため、今以上の販売が増えることはない。単価においてもほぼ前年同様である。	
	住宅販売会社（従業員）	・沖縄ブームは以前続いており、沖縄観光はこれからも愛知万博の影響を受けることなく順調に推移する。悪くなる要素は見当たらない。	
やや悪くなる	コンビニ（エリア担当）	・マイホームを取得するメリットが薄れている。所得税の控除枠の縮小、廃止や金利の上昇基調、住宅取得減税の縮小などが理由だと考えられる。景気浮揚にとって現在の一戸建ての着工戸数比率の低下傾向は大きなマイナス要因である。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・コンビニの優良客層である30代～50代、男性の客単価が3%下がっている。 ・夏休みに入り、今年も各地から多くの観光客の入込みが期待されるが、7～8月の宿泊予約状況は決して良いとは言えず、空室のある日が目立つ。観光客は夏＝海＝リゾートと考えるので、那覇市は通過地であり、リゾートホテルで部屋が取れない客の代替となる。地元宴会も少なく夏場は厳しい。	
悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街のエリアは、一般の物品が売れない。観光関連商品の店が多すぎて、売れるのは少ないという大変厳しい状況になっていると見受けられる。中心部の客は、外部に流れるので、中央部は大型店に集客が取られ、大変四苦八苦している。	
	住宅販売会社（経営者）	・国、県、市町村、民間も含め、工事の発注量が非常に少なく、景気は急速に悪化している。新聞、銀行の予測によると、建設業社の失業者は秋口までに4100人に達する。現在の沖縄県の失業率は8%を超える。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・引き合い件数が増えているので、受注量の増加が見込まれる。
	変わらない	輸送業（総務担当）	・盆のシーズンに入り物量も増え、現場は忙しく動いている。時期的に売上は増加するが、前年比ではそんなに増加する材料がない。
通信業（営業担当）		・大型案件が一巡し、新規案件で特に目立った動きはないが、通常の引き合いはコンスタントにあるので現状維持が続く。	

	不動産業（支店長）	・景気回復の要因が見つからないので、はっきりしない。	
	不動産業（従業員）	・今年は例年よりもアパートの来客数は少ないが、店舗に関しては例年よりも良い。結果的に例年並みであり景気が良くなる見通しが無い。	
	やや悪くなる		
	悪くなる	-	
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社 （営業担当）	・大手自動車メーカーを含めた愛知県の好景気の影響で人材不足が生じ、その募集がくることが決まっているために、沖縄での採用計画が進んでいる。問い合わせが既に来ていることから人の動きが予想される。
	やや良くなる		
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・現在は観光産業が夏場ということもあり活発に動いているが、3か月後はどうなるか定かではない。派遣依頼も今は長期より単発が多い。
		職業安定所（職員）	・前年同月と比較すると、6月の新規求職申込件数は7.4%、紹介件数は21.3%、月間有効求職者は7.7%、就職件数は15.9%それぞれ増加し、県外就職者は1.7%減少している。中途採用だと賃金等の条件が低くなる傾向があり、再就職を困難にしている。主婦層を中心としたパート求職者と雇用保険受給者は減少しているが、県外希望者は増加している。改善の動きはみられるが、求職求人も増加傾向で推移していき、雇用情勢は以前厳しい状況が続く。
	やや悪くなる		
悪くなる	-	-	